

2023/4/3発行の包装タイムスに掲載されました

北原産業

中巻き半切り「美しく」

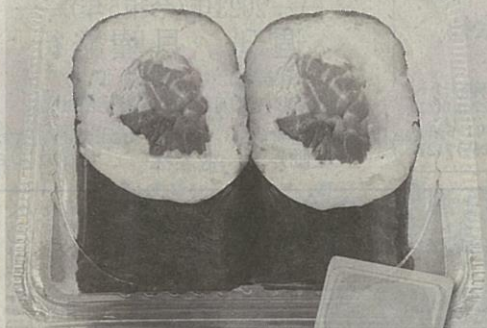
スタンドタイプの最適サイズ

北原産業(岡山県倉敷市、☎086・526・3040)は、巻き寿司で中巻き半切り2本を入れるのに最適なスタンドタイプ容器「DS-108」を製品化した。斜めにカットして入れられ、具材を美しく見せられ「華やかに陳列できる」としている。中巻きだけでなく1人用の惣菜

やプチスイーツなど活用の仕方も幅広く想定できることから、本格的な営業活動を展開していく考え。

これまで巻き寿司の太巻きを2分の1カットしたスタンドタイプとして「DS-102」をラインアップし提案していた。しかし、サイズ的に、のり全形を使用する巻き寿司用になるため、細巻きサイズのものと比較して、中間サイズとなる、のり全形2分の1を使った中巻きサイズに着

スタンドタイプ容器「DS-108」を提案



用になるため、細巻きサイズのものと比較して、中間サイズとなる、のり全形2分の1を使った中巻きサイズに着

目。今回、最適なサイズで容器を製品化したもの。形状は店頭訴求力の高いスタンドタイプを採用。「斜めにカットして入れられる」ので消費者が購入の際、中巻きのサイズ感が伝わりやすく、陳列効果を一段と向上させる。素材はOPSで、外

嵌合タイプ。製品サイズは100×97×44mm(蓋高さ33mm)。小袋入数は50でケース入数は1500。同社では、「海外からの開発要望も強く、今回は日本と同時発売する。訴求力の高いスタンドタイプなので、中巻き(半切り2本)だけでなく、生春巻き、ひとくちカツサンド、ゆでたまご他、惣菜やスイーツなど幅広く活用できるのでは」としており、製品周知に力を注ぐ考え。